

## 平成 30 年度第 2 回兵庫県スポーツ推進審議会 議事録

- 1 期日・場所 平成 30 年 12 月 18 日（火） 10:00～12:00  
兵庫県立ひょうご女性交流館 「501」  
〒650-0011 神戸市中央区下山手通 4 丁目 18-1
- 2 出席者  
(委員 11 名) 山口委員 平川委員 倉 委員 吉矢委員  
恒木委員 小林委員 鷗木委員 増田委員  
窪田委員 陳 委員 石角委員
- 欠席：平野委員 尾山委員 廣瀬委員 三木委員
- (幹事 10 名) ○一幡幹事 ○市村幹事 藤原幹事 ○岡田幹事  
○成田幹事 ○西田健幹事 ○西田利幹事 ○土屋幹事  
升川幹事 長島幹事
- 欠席：八木幹事 小俵幹事
- 山根スポーツ振興課参事（陪席）  
三浦兵庫県体育協会事務局長（陪席）（○印は代理出席）
- (教育委員会) 西上教育長
- (事務局) 漁副課長 岡本主任指導主事兼主幹  
坪田主任指導主事 加藤指導主事
- 3 開会あいさつ 西上教育長
- 4 委員・幹事紹介 名簿順による委員自己紹介及び幹事紹介
- 5 署名委員の指名 署名委員は、陳委員、平川委員に決定
- 6 前回議事録の報告  
平成 30 年度第 1 回スポーツ推進審議会における審議事項（「兵庫県スポーツ推進計画の改定」「兵庫県スポーツ推進計画（基本計画・実施計画）の改定」）について承認された。
- 7 審議事項  
(1) 兵庫県スポーツ推進計画（基本計画）の部分改定について  
事務局より、兵庫県スポーツ推進計画（基本計画）ワーキンググループ案」について説明した後、委員からご意見をいただいたうえで、審議会の答申とすることが承認された。

## (2) 兵庫県スポーツ推進計画（実施計画）の部分改定について

事務局より、兵庫県スポーツ推進計画（基本計画）ワーキンググループ案」について説明した後、委員からご意見をいただいたうえで、審議会の答申とすることが承認された。

## 8 報告事項

### (1) 今後のスケジュールについて

事務局より、今後のスケジュールについてについて説明した。

## ■ 委員の主な意見及び事務局の説明

### 審議事項1 兵庫県スポーツ推進計画（基本計画）の部分改定について

#### 【平川委員】

- スポーツクラブ 21 ひょうごが全てに対して絡んでいるが、具体的にどの様な役割なのかが不明確。スポーツクラブ 21 ひょうごに関して、基本的な内容や組織についての明確な記載が必要。

#### 【山口会長】

- スポーツクラブ 21 ひょうごの会員数は減少傾向にあり、色んなところで課題が出てきているので、その部分についてもワーキンググループで審議をした。また、スポーツクラブ 21 ひょうごのガイドラインについても見直しをしなければならない。理想と現実が少しずつれてきているところがあり、助成期間が終わってから二極化傾向も見られる。

#### 【恒木委員】

- スポーツクラブ 21 ひょうごでは、役員の高齢化、内容のマンネリ化、会員が集まらないといった苦情を聞く。姫路では地域振興事業とスポーツクラブをうまく合体させて展開しているが、地域差が激しく、何もかもスポーツクラブにおんぶにだっこというのは負担が大きいのでは。

#### 【倉委員】

- スポーツクラブ 21 ひょうごの地域差は感じる。特に過疎地はいろんな思いや状況があるため、不明確な表現になってしまうのではという気がしている。

#### 【山口会長】

- 兵庫県は、スポーツクラブの数では全国1位であるが、法人格を取得しているクラブの数では下位になってしまう。小学校区がベースであるため小さなクラブが多く、会員数の減少や運営側の後継者不足から疲弊した状態も見られる。ガイドライン改訂委員会では、これからの方向性として、専門職の採用、統合化の促進、法人格の取得といったところを柱に、審議が進められている。

### 【事務局】

- 法人格を取ることによって、体育館の指定管理、自治体からの委託事業の受託、t o t oからの助成など、収入の確保が容易になる。そのことにより、有償のマネジャーを得るなど、責任を持った経営ができるようになる。  
また、法人格取得に当たっては、県が認可することとなり、取得にあたってのアドバイスを受けることもできる。

### 【増田委員】

- 重点目標5（3）の文中の記載だけでなく、冒頭に「ユニバーサルデザイン」という言葉を入れてはどうか。

### 【鵜木委員】

- 2017年の5月に日本でジェンダーサミットが開催され、初めてスポーツが題材として取り上げられた。そのまとめによると、社会におけるジェンダー平等の推進等に関しては、「多様性」重視のスポーツ政策が求められている。  
「女性が」スポーツの担い手となる、「女性が」スポーツに参加しやすくなると、「女性が」という文言を入れればそれらが進むということではなくて、「多様性」というキーワードを入れることによって、具体的な取組がしやすくなる。

### 【山口会長】

- 多様性という言葉は、性別・ジェンダーということだけではなく、年齢、民族、運動能力、障害の有無といったことにも使われるので、そういったところを反映して、事務局で「多様性を重視した」というような表現を盛り込んでいく方向で進めてほしい。

### 【平川委員】

- 重点目標1の「スポーツをする子供の増加と体力の向上」で幼児期のことに対する記載が増えたことは賛成である。身体面だけではなく、心理・社会的なことに関する表現を入れてはどうか。

### 【倉委員】

- 幼児期からの運動というのは非常に重要なので、幼児期運動指針を踏まえた内容を盛り込んでいる。心理・社会的な部分については「様々な活動への意欲や社会性、創造性」といった言葉を記載している。

### 【吉矢委員】

- 平成28年から、子どもの運動能力低下などに対して、学校の健康診断の中に運動器検診が入った。このことを加えた方がよい。

### 【事務局】

- 内科検診のなかで、学校医の先生に上肢下肢の動き等を確認していただき、日常生活に影響があるかどうかということも含め検診が行われている。項目を入れる箇所については、事務局で検討させていただきたい。

### 【小林委員】

- スポーツにおけるインテグリティについての表現がさらっとしすぎているのではないか。今まさに重きを置いていかないといけない時代に入っていくのではないか。

### 【石角委員】

- 話がそれるかもしれないが、指導者も選手もお互い共通認識として、こういうことがセクハラやパワハラだというような冊子をつくっていただきたい。

### 【山口会長】

- 基本計画には「ハラスメント、体罰、暴力の根絶などに向けた取組の推進が求められている」という文言が書かれている。これを受けて作成される実施計画により、行政やスポーツ団体が実際に施策を進めていただきたい。

## 審議事項 2 兵庫県スポーツ推進計画（実施計画）の部分改定について

### 重点目標 1

#### 【事務局】

- 運動部活動については、休養日として、平日 1 日と土日についてはどちらかの 1 日の週 2 日を設定しており、そういったことを踏まえて「1 日 1 時間以上」という表現を「週 7 時間以上」としている。

#### 【窪田委員】

- 学校における事故発生件数について、日本スポーツ振興センターへの届け出数が指標となっているが、例えばたつの市では、中学生以下の子どもについては医療費が無料になっている。実際、けがをしても申請しない場合が多く、けがの件数として正確な把握はできないと思われる。

### 重点目標 2

#### 【平川委員】

- 運動・スポーツ・身体活動と色々な表現があるが、改定版の中で、言葉の再定義を明確にしておいた方がよい。

#### 【山口会長】

- 現行計画に「本計画では、健康の維持・増進のために行う身体活動（生活活動・運動）も「スポーツ」に含める。」との記載があり、定義についてはこの考え方で一応統一されている。

### 重点目標 4

#### 【事務局】

- 県立障害者スポーツ交流館の利用率が 98%に達しており、これ以上利用者の増加をしようがないという状況を打開するため、その隣接地にひょうご障害者トレーニングセンターの建設を検討している。

## 重点目標5

### 【小林委員】

- オリンピック・パラリンピックの事前合宿、誘致数について、現在もどこかの国と交渉しているのか。
- 最終目標の10というのは、かなりハードルが高いように思う。2年3年前にはその国に行って、何回か練習を行い、事前合宿の県や市を決められると思うが、あと2年しかない期間で目標数が達成できるのかなという疑問がある。
- どこが窓口となって合宿の誘致を進めているのか。

### 【事務局】

- 現在、三木市がネパールとパラリンピックのテコンドーで交渉をしているなど、県レベルと市町レベルと、両方で色々な問合せの対応を行っている。
- 外国の競技団体から、日本の競技団体に話が来るケース、外国の競技団体から、旅行会社を通して話が来るというケース、国のオリンピック委員会から、日本のオリンピック委員会に依頼が来るというケースの3つがある。

9 閉会あいさつ 長島スポーツ振興課長

10 閉 会